

## 平成 28 年度レセプトデータに基づく分析結果と健康課題

## 【疾病大分類】

医療費が高い疾病		医療費
1 位	新生物<腫瘍>	1, 196, 008, 710 円
2 位	循環器系の疾患	966, 743, 818 円
3 位	筋骨格系及び結合組織の疾患	629, 840, 244 円

患者数が多い疾病		患者数
1 位	呼吸器系の疾患	9, 753 人
2 位	消化器系の疾患	8, 696 人
3 位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	8, 684 人

一人当たり医療費が高額な疾病		一人当たり医療費
1 位	新生物<腫瘍>	260, 852 円
2 位	精神及び行動の障害	256, 999 円
3 位	周産期に発生した病態	250, 172 円

## 【疾病中分類】

医療費が高い疾病		医療費
1 位	その他の悪性新生物<腫瘍>	365, 779, 146 円
2 位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	335, 128, 203 円
3 位	高血圧性疾患	331, 801, 874 円

患者数が多い疾病		患者数
1 位	高血圧性疾患	6, 798 人
2 位	その他の消化器系の疾患	5, 869 人
3 位	屈折及び調節の障害	5, 070 人

一人当たり医療費が高額な疾病		一人当たり医療費
1 位	白血病	1, 608, 060 円
2 位	腎不全	645, 869 円
3 位	直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	577, 469 円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	2,066 件
高額レセプト件数割合	0.80%
高額レセプト医療費割合	33.50%

【高額レセプト発生患者の疾病傾向】

一人当たり医療費順(中分類)		一人当たり医療費
1位	その他の理由による保健サービスの利用者	8,890,270 円
2位	皮膚炎及び湿疹	6,592,673 円
3位	白血病	5,993,235 円

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率</p> <p>疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査の受診勧奨</li> <li>・特定保健指導の実施</li> </ul>

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	980 人
----------	-------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	113 人
------------	-------

課題と対策	対策となる事業
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者</p> <p>健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診異常値放置者受診勧奨</li> <li>・生活習慣病治療中断者受診勧奨</li> </ul>

【糖尿病性腎症発症者の状況】

人工透析患者	38 人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	22 人

課題と対策	対策となる事業
<p>◆糖尿病性腎症</p> <p>人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができる考える。</p>	<p>・糖尿病性腎症重症化予防</p>

【医療機関受診状況】

重複受診者	84人
頻回受診者	235人
重複服薬者	346人

課題と対策	対策となる事業
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者</p> <p>重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<p>・受診行動適正化指導</p>

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	71.40%
--------------	--------

課題と対策	対策となる事業
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率</p> <p>国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<p>・ジェネリック医薬品差額通知</p>

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	694人
-----------	------

課題と対策	対策となる事業
<p>◆薬剤併用禁忌</p> <p>多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する。医療機関等に情報提供し、併用禁忌となる薬剤の処方防止する。</p>	<p>・薬剤併用禁忌防止</p>

【服薬状況】

長期多剤服薬者	995 人
---------	-------

課題と対策	対策となる事業
◆服薬の状況 多数の長期多剤服薬者が存在する。多剤服薬は副作用が起こりやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。	・服薬情報通知